

## 平成 28 年播種（平成 29 年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔3 月 20 日調査結果〕

## 1. 供試品種および耕種概要

## ・供試品種

	早生	中生
六条大麦	シュンライ	ミノリムギ
小麦	あおばの恋	シラネコムギ ゆきちから

- ・排水対策：暗渠または弾丸暗渠  
(ほ場長辺方向 2.5m×ほ場短辺方向 5m 間隔)

- ・播種期：10 月 19 日
- ・播種量：0.9 kg/a（ドリル播き，条間 25 cm）
- ・施肥：尿素燐加安 777 号  
(N : 0.8 kg/a, P205 : 0.8 kg/a, K20 : 0.8 kg/a)
- ・土づくり肥料等：粒状苦土石灰 6 kg/a
- ・ほ場条件：沖積埴壤土 転換初年目（前作水稻）

## 2. 気象概況〔2 月中旬～3 月中旬〕(表 1, 図 1～3)

- ・平均気温では，平年並み～やや高くなったが，日別では寒暖差が大きかった。
- ・降水量は，3 月第 3 半旬にまとまった降雨を観測したが，期間全般では少雨であった。
- ・日照時間は，3 月第 3 半旬が少照だったが，期間全般では多照となった。
- ・期間中 2/16, 17, 3/4, 6 に日最高気温が 10℃を超えた一方で，2/28, 3/8 は日平均気温が氷点下で積雪を観測する等，気象の変化が激しかった。

表1 気象経過(2月第3半旬～3月第4半旬) 古川AMeDAS

月 半旬	平均気温 (°C)		積算降水量 (mm)		積算日照時間 (hr)	
	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比
2月 第3半旬	2.0	1.6	0.0	0%	35.7	143%
2月 第4半旬	1.9	1.1	4.5	51%	27.6	108%
2月 第5半旬	1.3	0.2	4.5	51%	22.1	86%
2月 第6半旬	0.9	-0.6	0.0	0%	22.2	145%
3月 第1半旬	3.4	1.6	1.0	11%	29.9	116%
3月 第2半旬	1.5	-0.8	3.0	31%	21.4	80%
3月 第3半旬	2.6	-0.4	23.5	218%	8.8	31%
3月 第4半旬	5.2	1.3	5.0	43%	44.9	158%

## 3. 生育概況

## 1) 3 月 20 日現在の生育状況 (表 2)

- ・草丈は，大麦は平年より短く，小麦は平年より長かった。
- ・茎数は，「ゆきちから」が平年を上回ったが，他品種は大麦・小麦とも平年より少なかった。
- ・葉数は，大麦，小麦とも平年並みであった。
- ・播種前後の乾燥と低温で初期生育は遅れたが，12 月中旬以降，高温傾向で推移したため，大麦，小麦ともに生育が進み，概ね平年並みの生育状況となった。

## 2) 幼穂分化状況 (表 3)

- ・幼穂長は，大麦が約 3mm，小麦が約 2mm で平年より長く，大麦，小麦とも平年より早く幼穂形成始期に達した。
- ・茎立期には達していないが，全品種で主稈の伸長が確認された。

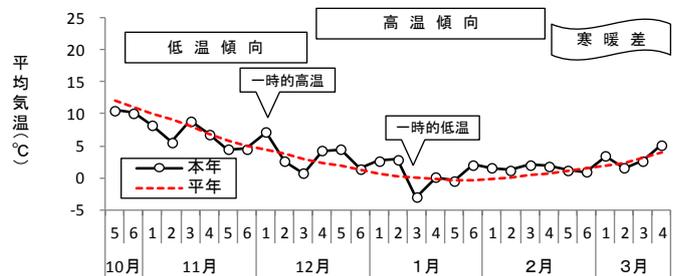


図1 半旬別気象経過(平均気温, AMeDAS(古川), 2017年)

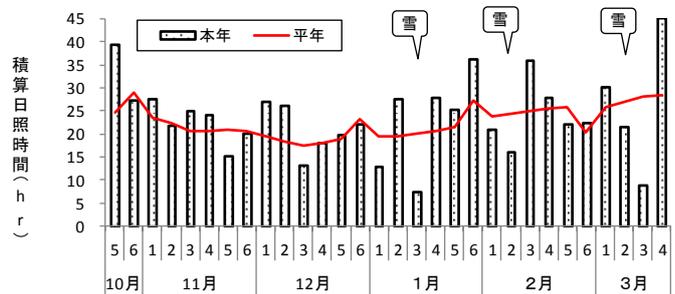


図2 半旬別気象経過(積算日照時間, AMeDAS(古川), 2017年)

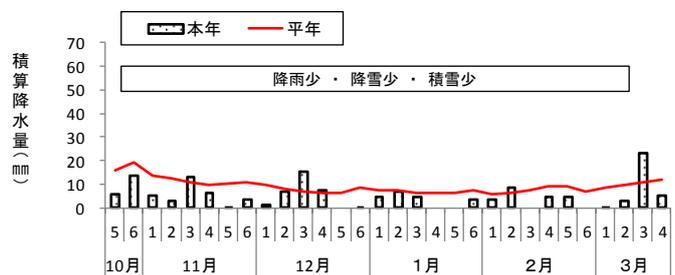


図3 半旬別気象経過(積算降水量, AMeDAS(古川), 2017年)

表2 生育状況 (3月20日現在)

品種	草丈			茎数			葉数		
	本年	前年比	平年比	本年	前年比	平年比	本年	前年差	平年差
	(cm)	(%)	(%)	(本/m <sup>2</sup> )	(%)	(%)	(枚)	(枚)	(枚)
シュンライ	11.5	73	92	937	87	87	7.4	-0.7	0.5
ミノリムギ	12.3	77	96	1009	97	93	7.3	-1.9	-0.1
あおばの恋	17.5	80	110	799	95	93	6.5	-1.0	-0.1
シラネコムギ	14.3	86	105	944	82	89	7.2	-1.5	-0.3
ゆきちから	12.9	96	109	1195	92	104	7.0	-1.3	-0.2

注1) 平年比(差)は平成25年播種を除く過去5か年の平均値との比較。

表3 幼穂分化状況 (3月20日現在)

品種	幼穂長			幼穂分化程度	幼穂形成始期			主稈長(mm)	茎立期		
	本年	前年差	平年差		本年	前年	平年		本年	前年	平年
	(mm)	(mm)	(mm)		(月日)	(月日)	(月日)		(月日)	(月日)	(月日)
シュンライ	3.21	-0.45	0.71	VIII~X	1/26	1/27	2/8	8.5	-	3/22	4/3
ミノリムギ	3.01	-0.04	0.98	IX~X	2/1	2/4	2/22	6.8	-	3/26	4/6
あおばの恋	2.69	-1.21	0.34	IX	2/6	12/26	2/11	16.9	-	3/7	3/29
シラネコムギ	1.80	-0.03	0.61	IX	3/6	3/6	3/18	4.7	-	3/29	4/11
ゆきちから	1.41	-0.20	0.33	VIII~IX	3/17	3/8	3/21	2.8	-	4/4	4/14

注1) 平年(差)は平成25年播種を除く過去5か年の平均値との比較。

2) 幼穂分化程度: V期末満は省略。

3) 幼穂形成始期: 幼穂長が1mmに達した日。

4) 茎立期: 主稈長が20mmに達した日。

[参考] 麦類の幼穂分化程度と幼穂長(mm)

品種	苞分化期		小穂分化期				穎花分化期	
	V	VI	VII	VIII	IX	X		
小麦(シラネコムギ等)	0.5	0.5~0.6	0.6~1.0	1.0~1.2	1.2~4.0	4.0~5.0		
大麦(シュンライ等)	0.5	0.5~0.7	0.7~1.5	1.5~2.0	2.0~4.0	4.0~5.0		

注) 幼穂分化程度はI~Xの10期に区分されるが、V期以前は外部形態による判定が困難であるため省略。

厳密にはVII期は「前・後期」に、IX期は「前・中・後期」に区分される。

## 平成28年播種(平成29年産)麦類生育調査ほ生育状況[3月20日調査結果]

表4 麦類生育調査ほ 耕種概要

担当普及センター	品種名	実施場所	畑転換年数	排水対策(明渠、暗渠等)	播種期(月/日)	播種量(kg/a)	条間(cm)
大河原	シュンライ	大河原町	18	暗渠	10月24日	1.0	30
	ミノリムギ	大河原町	1	暗渠	10月24日	1.0	30
仙台	シュンライ	大和町	15	本暗渠, 明渠	10月末	0.8	28
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	3	暗渠	10月15日	1.0	14.3
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	3	暗渠, 明暗	10月14日	1.2	22.9
	ゆきちから	涌谷町	1	暗渠	10月28日	1.2~1.3	22.2
登米	あおばの恋	登米市豊里	15	本暗渠, 弾丸暗渠	10月27日	0.9	24
石巻	シュンライ	石巻市桃生	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠(予定)	10月21日	1.0	30
	ミノリムギ	石巻市桃生	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠(予定)	10月20日	1.0	30
	シラネコムギ	石巻市小船越	1	本暗渠, 弾丸暗渠, 明渠(予定)	11月5日	0.9	22.5

注) 播種様式は「ドリル播き」。

表5 麦類生育調査ほ 生育状況(3月20日現在)

担当普及センター	品種名	実施場所	播種期	草丈			茎数			幼穂長(mm)
			本年 (月/日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/m <sup>2</sup> )	前年比 (%)	平年比 (%)	
大河原	シュンライ	大河原町	10/24	12.9	87	129	757	121	110	2.3
	ミノリムギ	大河原町	10/24	14.8	81	151	665	103	136	2.7
仙台	シュンライ	大和町	10月末	7.9	51	69	243	26	40	1.7
大崎	シラネコムギ	大崎市古川	10/15	13.9	71	105	1448	92	169	1.3
美里	シラネコムギ	大崎市鹿島台	10/14	11.8	74	107	1288	88	173	1.0
	ゆきちから	涌谷町	10/28	12.2	106	124	1057	105	195	1.0
登米	あおぼの恋	登米市豊里	10/27	20.0	—	—	1065	—	—	1.9
石巻	シュンライ	石巻市桃生	10/21	12.6	71	98	340	49	48	2.4
	ミノリムギ	石巻市桃生	10/20	16.1	99	130	730	96	113	2.1
	シラネコムギ	石巻市小船越	11/5	14.0	89	126	598	62	45	0.4

注1) 出芽良否: 発芽率80%以上を良, 60%以下を不良, その中間を中とする。

注2) 生育調査ほ(品種別)毎に過去5か年の値を平均した値をそれぞれの平年値とした。

注3) 仙台「シュンライ」は, 平成25年播種から実施場所が変更となったため, 平年値は過去3か年の参考値。

注4) 美里「シラネコムギ」の平年値は, 平成24年播種を除く過去4か年の参考値。

注5) 登米「あおぼの恋」は, 本年から実施場所が変更されたため, 前年値及び平年値はない。

### 生育状況等に関するコメント<sup>(注)</sup>

(注)調査ほ変更等で過去5か年の平年値がない場合でも, 各普及センターが独自に蓄積した地域平均等と比較して評価した箇所がある。

#### 大河原

- ・12月以降の高温傾向により生育は順調に進んでいることから, 平年より草丈は長く, 茎数は多くなっている。
- ・幼穂長は2mmを超え, 平年より生育ステージは早く進んでいる。
- ・病害の発生は見られず, 雑草の発生も少ない。

#### 仙台

- ・白鳥による食害のため, 草丈は参考値。
- ・茎数は少なめ。
- ・幼穂長は過去15年平均と比べほぼ同等。

#### 大崎

- ・草丈は平年比105%, 茎数は平年比164%。
- ・幼穂長は平年差+0.66mm。
- ・病虫害, 雑草の発生なし。鳥類による葉の食害がみられる。

#### 登米

- ・調査区には鳥害はないものの, 1~2月にかけてほぼほ場全面に白鳥, ガン等の食害を受けた。
- ・3月に入り回復し始めているが, 鳥害のない部分との生育差が大きい。
- ・ほ場の一部は, 強風で土がとばされ, 麦が埋もれている。
- ・雑草, 病虫害は特に発生なし。

#### 美里

- ・両品種(「シラネコムギ」, 「ゆきちから」)とも幼穂形成始期に入っている。
- ・「シラネコムギ」ほ場では, 再び鳥害がみられた。
- ・「ゆきちから」ほ場では, 2月末に鳥害対策として株直し追肥を実施したところ, 回復がみられ, 茎数を確保し順調に生育している。

#### 石巻

- ・草丈, 茎数は「シュンライ」「シラネコムギ」は平年を下回ったが, 「ミノリムギ」は平年を上回った。
- ・幼穂形成期は「シュンライ」は平年並, 「ミノリムギ」は平年に比べ5~8日早くなった。